

2021年7月

からし種

カトリック片瀬教会



パスカーレ神父様を偲んで

教会委員長 池尾昇治

物静かで穏やかな感じというのが神父様の最初の印象でした。2018年4月3日に着任され、15日には司教様をお迎えしての堅信式まできちんと事細かに準備をされ、典礼も基本に忠実に行われていました。その後も事あるごとに典礼を信徒にわかりやすく教えて下さっていました。食事はほとんどコンビニで調達、夕食にグラス1/3ほどワインを飲まれるとのこと。「神父様、それ少なすぎませんか？グラス半分にしたら？」というのと、「いえいえ、私はこれで十分です。」とお答えになりました。2019年6月9日聖霊降臨の日に「教会の歩みを考える会」を開き、3つのテーマについて信徒が自由に話せる場を作って頂きました。何かの答えが出たわけではないのですが、信徒が自由に話せる環境を育てていこうと考えられていたのだと思います。その2日前、マドンナ会の遠足で中原、溝の口の教会へ行った折、神父様は久しぶりの再会にうれしそうな顔が印象的でした。帰りのバスの中、鹿島田を加え3つの教会の司祭だった時、3教会間で不公平が無い様配慮した苦労話を聞かせて頂き、やはり真面目な方だなと思いました。

神父様の記憶力はすごかったです。「何年何月何日に何々があった。」とか、「何月何日にあなたはこのようなことを話ししましたね。」等とはっきり覚えている、しかも何十年も前のことまで。反面、聖書講座等で祈る時は必ず手帳を広げて祈る。記憶力からすれば絶対不要なのにと感じていました。

神父様のからし種の巻頭文は2020年4月で終わっています。4月15日の入院時は、まだ何もわからず2週間程で退院ということで重症と聞いていたものの軽く考えていました。ところが退院まもない26日司祭館事務室で二人きりでコロナ対応を話した時。神父様が「これからどうします？」と訊かれたので、「神父様の状況によりますが…。」と答えたら、「それでは私のことを話しましょう。」と病気のことを話されました。

最後に「このことはもう司教館に伝えてあります。私はこの教会を離れます。後のことは後任の司祭と相談しながらやってください。」と。ショック、悲しみ、寂しさ、不安で頭が真っ白になってしまった。

これが神父様とお会いした最後でした。神父様のお姿を思い浮かべると何か切ない気持ちにもなります。でも今はもう天国におられる、きっと安らかであたたかいところにいらっしゃるのでしょう。

片瀬教会にて主任司祭でいらしたパスカーレ・ヴィンチェンツォ神父様(ミラノ外国宣教会)は 6月9日(水)午前8時23分癌桜町病院 聖ヨハネホスピスに於いて帰天されました。享年72歳。永遠の安息日のためにお祈りいたします。

葬儀ミサ・告別式は、6月15日(火)横浜教区カテドラル山手教会にて行われました。尚、コロナ禍のため司祭団のみで執り行われました。

次号(8月号)では追悼特集を予定しております。皆さんからの寄稿をお待ちします。



2021年6月度 教会委員会報告

日時：2021年6月6日(日) 11:40~13:00

出席者：ブランチ神父、委員長、副委員長、総務、福祉、冠婚葬祭、典礼、マドンナ会、中高大青会、教会学校、一粒会、市内キリスト教連絡会、広報、監査、片瀬修道院

□ ブランチ神父様より

私が片瀬へ来て2か月になりますが、だいぶ落ち着いてきました。司祭館も良くなりました、見に来てください。

□ 6月以降の日程確認

1. 主日ミサについては引き続き、地区別ミサ継続とするが、地区別解除可能な兆候が出てきた場合は、臨時委員会を開き地区別廃止を検討する。教会活動再開めどについては下記、報告事項1参照。
2. 6月20日 司教様をお迎えしての堅信式は、通常の地区別ミサとする。
3. 6月12日(土) 第5地区「典礼担当者の集い」 原宿教会・めぐみの家
4. 6月18日(金) 10:30~ 福祉部会
5. 年間行事予定にある「片瀬の夕べ」は今年も中止とする。

□ 報告および連絡事項

1. 教会活動の再開めどにつき、信徒で医師のAさんに神父と委員長が意見を伺った。ご意見の内容は委員会にて説明し、今後の対応の参考とする。また、違った分野での専門家のお話しを伺うことも検討する。
2. Aさん及び信徒意見交換会での意見を取り入れ、聖体拝領時に手をアルコール消毒するようにした。
3. 司祭館改修状況について藤江さんから報告
 - 1) 前回報告以外に次の修繕工事が追加されている。

① 建具工事（応接室：戸襖補正、襖紙貼替）	¥90,970
② 書庫：クロス貼替	¥57,750
③ 司祭館全体電気配線工事一式	¥1,150,000
 - 2) 電気配線工事について天井に点検口を作っているが、屋根裏で木が痛んでいるところがある。
工事は6月中旬までかかる見通し。
 - 3) 今回の改修にコロンバン会から50万円の寄付があった。
4. 植木の殺虫剤散布およびガレージ内、くすの木の根の処置予定 片瀬造園(見積¥104,220)
5. 下水道慢性的詰まりの処置 高圧洗浄、各マンホール内根っ子の除去作業(10ヵ所)予定。 関根ポンプ店(見積¥99,000)
- 6 聖堂香部屋側引き戸鍵、信徒会館ガラス戸鍵がかかりにくく交換する。また、信徒会館のトイレのドアの閉まり悪く改修する。いずれも川崎建設に見積依頼をしている。
7. 長谷川路可の画と片瀬教会の紹介を在バチカン日本国大使館のFacebookに載せたいとの申し入れがあり写真を送った。Facebook 公開は今月末くらいとのこと。

□ 検討・討議事項

1. 5月4週にわたって行われた信徒意見交換会の結果、意見の多いテーマは、連絡網整備、地区別、ミサのYouTube配信であった。
 - 1) 連絡網整備を早急に進めるとのことで、連絡網作成作業チームを作ることにした。
 - 2) コロナ禍で教会に来られない人が教会の状況を知ることができるようホームページの内容を充実させる。内容としては、
 - ① 毎週のお知らせをアップする。
 - ② 各部から情報発信をする。例えば、教会学校の活動、ガーデニングサークル活動等があり、積極的にホームページ担当へ提供することにより教会情報を豊かにする。
 - 3) 教会委員は4回の意見交換会記録に目を通し、次回の委員会以降信徒の意見に対する答えを出していく。
2. 中高大青会からの要望で卓球台を更新する。
 - 1) ①卓球台¥39,800、②ラケット¥2,350、③カバー¥1,350、④カウンター¥1,350 計¥46,689を承認。
 - 2) 古い卓球台の有効活用を考える。
3. 信徒意見交換会にも要望がでていたミサ YouTube 配信を実施する。

教会内 Wi-Fi 環境整備は鍛冶ヶ谷教会のネットに詳しい人が協力してくれており片瀬の若者と連絡し合っているので進めてもらうようにする。環境が整い次第配信をする人や管理方法等も決めていく。

4. 司祭館から長谷川路可の画レプリカ 6 枚と、若い時に描いたと思われるユリの花の画を発見した。
 - 1) 信徒会館にでも展示をしたい。また、信徒会館の教会の歴史が 10 年以上前で止まっているので、合わせて展示の見直しをする。
 - 2) 6 月 13 日から早速信徒会館の 2 F に臨時に展示し、信徒の方々に観てもらおうようにする。
5. 子ども達からの意見で「教会に月 2 回は集まりたい。教会で何か成し遂げられることをやりたいと考えた末、楽器の演奏をしたい。」とのこと。ついてはギターがほしいとのことなので信徒から不要になったギターの寄付を募ることにする。ギターは中古や弦が張っていなくても良い。
6. ガーデニングサークルから、草花を育てるのは楽しいことなので子ども達も参加してもらいたい。 * 次回の教会委員会は 7 月 4 日

信徒意見交換会

池尾昇治

5 月 9 日～30 日までの主日に信徒大会に代わる意見交換会をミサ後 4 回行いました。30 分という短い時間でしたが、皆様の常日頃教会に対する思いに対し活発な話し合いができたと思っています。参加された方、教会委員の方々には再度感謝申し上げます。各回とも 3～4 グループで 1 グループほぼ均等に 10 名ほどでした。話し合いに際しては、3 月迄に出された信徒大会に代わる意見・質問をたたき台という意味で紹介しましたが、神父様のご意向である「自由に話合う」「人の意見に反論しない」ということがあり、グループテーマもなく自由に話し合ってもらいました。結果は、主に教会連絡網、地区別の活動、コロナ禍における教会活動の広報（教会に来られない方へ配慮、ミサの YouTube 配信等）幅広い意見が出されました。6 月 6 日の教会委員会では、速報として 4 回全ての記録を委員に配布し、上記の主な内容と伝えるとともに全員が記録全てに目を通して今後どのようにしていくかを検討することになりました。

この中で、早急に進めるべく今回は以下のことに決定。（教会委員会報告参照）既にお知らせ、ポスターでお知らせしていることでもあります。

1. 教会連絡網整備を早急に進める。そのため専任作業チームを作るがメンバーを委員以外からも募る。地域や学校などで経験のある方が参加してもらおうと有難い。
2. ホームページに毎週のお知らせをアップする。
3. ミサ YouTube 配信を進める。鍛冶ヶ谷教会に Wi-Fi ネット整備に詳しい若い人がいて、片瀬の若い人と連絡を取っている。バックアップをしよう。

最後に皆様をお願いします。教会は信徒一人一人で成り立っていて、決して神父様や委員会が運営しているものではありません。どんな微力でも結構です。大河が水一滴一滴で成り立っているように信徒の一人としてご協力ください。

初聖体

～ご聖体をはじめていただく～

6月6日(日)

幼い頃から教会学校へ来ていた二人が今年、初聖体に与りました。教会学校ではご復活祭の前に過越のお話をして、種なしパンを作ります。この時、パン屋さんのパンとは違うという体験をし、ごミサについて学びます。以前はご聖体の意味のわかる小学生以上を対象にしていたので、この日を心待ちにするお子さんもいました。初聖体も同じです。

この二人も幼い頃からお母様に連れられ、教会に来て一緒にお祈りをしてきました。これが信仰教育の第一歩です。信仰のない人が水を注がれても洗礼にはなりませんし、ご聖体を頂いても聖体拝領になりません。二人は待ち望み、神様を信じ、願い、清い心で当日を迎えました。コロナ禍の教会学校の再開は困難な事もありましたが、準備をしていく中で、ブランチ神父様が強く望まれた事がありました。それは温かいものにしたい、初聖体は、ご家族のものでもあるので、食卓にご家族も招きたいという事でした。一つの食卓を囲み、神父様の仰っていた温かいお式が出来た事に感謝致します。

そして改めて、ご聖体を初めて頂く意味を考えさせられました。素晴らしいお恵みを頂いた事に感謝し、子供達が神様と離れず、共に歩んでいけますようにお祈り致します。



左 ベルナデッタ R.A.

右 チェチリア・シャルロット N.S.



青年たちの堅信式

6月20日(日)

梅村昌弘司教様司式のもと、堅信式が行われました。司教様のお説教では、“神の愛を証(あかし)すること”がいかに大切であるかを説かれました。教皇様の御言葉「私たちの時代の人間は、教師よりも“証する”人に喜んで耳を傾ける」を重要視してこられました。一人では及ばないことを皆で力を合わせて、お互いのために証の力を発揮してほしいと言われた後、故パスカーレ神父様を見送られた事に触れ、「真に信仰に生きた宣教師であり、教会によく尽くした」と述べられました。若い堅信者が信仰者として歩むために、信徒たちが心を一つにしてお祈りしてください、と結ばれました。

【お説教全文は、『The 説教』のCDに収め聖堂入り口に置いてあります】



ブランチ神父 梅村司教 谷脇神父

上段女子左から

マリア・テレサ
マリア
マリア インマクラータ

A. A.
M. S.
A. M.

上段男子左から

洗礼者ヨハネ T. T.
ヨハネ ポスコ S. K.
ルカ S. K.
トマス T. K.

下段左

マリア ルチア

H. M.

下段右

フィリポ・ネリ F. Y.



聖歌（録音）が静かに流れる中、厳かに執り行われました。コロナ禍の厳しい状況の中で、しっかりと信仰を固めてきた若い青年たちのエネルギーが漲り、希望に満ちた片瀬教会の式となりました。



『聖書と典礼』講座

『聖書と典礼』は、入祭唱から通して読むとミサのテーマがわかりやすくなります。6月2日、ランチ神父様のこのような語りかけで始まった当講座。受講者は14名。その週のテーマを見つけて神様のメッセージに思いを巡らせることが大切との神父様のお話しに、出席者はみな真剣に文字を追います。回を重ねるごとに出席者同士の語り合いも増え、楽しい宝探しの時間となってきました。この宝は鍵をかけてしまっておくのではなく、日々の生活に活かすことができますようにとお祈りしながら時を超えた旅を続けます。

司牧協議会会長 カテケージス（その1） 「いのちを守る聖ヨセフ」 司教協議会会長 高見大司教

昨年12月8日、教皇フランシスコは、教皇ピオ九世が聖ヨセフを「カトリック教会の保護者」を宣言されてから150年になるのを記念して、使徒的書簡『父の心で』を発表され、2020年12月8日～2021年12月8日を「ヨセフ年」とすると宣言されました。2014年からミサ第2～4奉献文の取り次ぎの祈りに聖ヨセフの名が加えられたことは、「ヨセフ年」の準備にもなったようです。

なお、教皇ピオ九世に次いで、教皇ピオ十二世は聖ヨセフを「労働者の保護者」（1955年5月1日）、聖ヨハネ・パウロ二世教皇は「購い主の守護者」（1989年8月5日）とそれぞれ宣言されました。そして信者たちの間では「よい最期の保護者」として慕われてきました。また、『カトリック聖歌集』（1966年）の中の聖ヨセフの4つの聖歌には「守る」という言葉が共通してみられます。

教皇様はヨセフの父親像の特徴を7つ挙げておられますが、ここでは「いのちを守る聖ヨセフ」の姿に近づいてみたいと思います。

1. マリアの尊厳を守るヨセフ

ヨセフはマリアと婚約していましたが、律法の上で二人は夫婦同様に見なされていませんでした。ところが、ヨセフは身に覚えがないのに、マリアが子を宿していることを知りました（マタイ1・18）。マリアは自身は、天使のお告げで、聖霊の働きによって子を産むと言われたので、それを信じて受け入れました（ルカ1・26-38）が、ヨセフはそのことをまだ知らなかったようです。もし婚約者のマリアがほかの男性と関係を持ったのであれば、姦通罪を犯したことになり、ヨセフは、律法に従って、マリアと相手の男性を訴えて、死刑を求刑することもできました（レビ記20・10；申命記22・22-24参照）。それが「正しい人」のすることでした。「正しい人」とは、何よりも律法を忠

実に守る人のことだったからです。実際ヨセフは、息子イエスの割礼と奉獻、過越祭のエルサレム巡礼などの掟を守る、正しい人でした。しかし彼の正しさは、単に律法を守るだけでなく、それ以上に人の尊厳を守ることを優先させることにありました。ヨセフは、マリアを信頼し、尊敬していたので、マリアの女性としての尊厳を守ろうとしたのです。ですから、苦しみ悩んだ末であったと想像されますが、「マリアのことを表ざたにするのを望まず、ひそかに縁を切ろうと決心」(マタイ 1・19) しました。そこには婚約者マリアに対する愛に満ちた気遣いがありました。彼の正しさは真のやさしさにあったと言えます。ヨセフの行動は、姦通の女を赦し(ヨハネ 8・11)、安息日の掟の遵守により病人の癒しを優先させたイエスの姿(ルカ 13・10-17; 14・1-6; ヨハネ 5・1-18; 9・1-34) と重なります。幸い、ヨセフは、マリアが聖霊によって身ごもっていると神から知らされてひとまず安どすることができました。



海の星の聖母



7月になりました、いよいよ本格的な夏ですね！子ども達も夏休みに入り何となくウキウキした気分になるのではないのでしょうか。7月20日は「海の日」。私たちの住む湘南は海と切っても切れない地域。ところで海と言えば、「海の星の聖母」(Stella Maris:ステラ マリス)という言葉があります。言うまでもなく聖母マリア様のこと。カトリック聖歌 338~340 番は「海の星」を讃える聖歌です。恥ずかしながら私は子どもの頃、イエス様のお母さんだから「生みの星」と思い込んでいました…。そもそも「マリア」という名前はヘブライ語では「婦人」を意味し、中世には「海の星」と解釈されていたそうです。キリスト者の希望の印、導きの星としての役割を強調してきた呼び名です。特に聖母マリアは航海する人や海で生活する人の案内人、保護者として神と人間を仲裁する方と信じられています。航海する人にとって航海術上から「海の星」とはこぐま座アルファ星または北極星を指すそうです。星がきらめく夜空に北極星を探してみませんか。

パリ外国宣教会宣教師の活躍

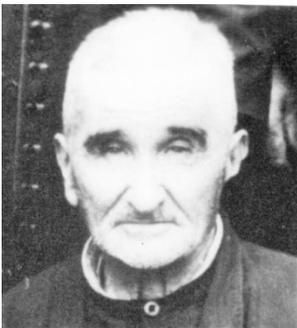
プチジャン神父は信徒発見の翌年、1866年に司教になりました。彼は浦上四番崩れの犠牲者たちを解放するために奔走し、彼らが戻った後には、その司牧に力を注ぎました。

1876年になると日本をふたつの代牧区に分け、北はオズオーフ司教、南はプチジャン司教が担当することになりました。オズオーフ司教は横浜を、プチジャン司教は大阪を拠点として、長崎には南の補佐司教としてロカイン神父が任命されました。

浦上四番崩れをのがれてマラッカ半島のピナンに亡命していた大浦の神学生たち3名が1872年に帰国すると、東京、横浜、長崎などで神学の勉強を続け、1882年12月31日には初の日本人教区司祭として叙階されました。プチジャン司教はその2年後、1884年に長崎で帰天し、信徒発見の大浦教会に葬られました。55歳でした。

1880年ごろから外国人の行動規制が緩和されたため、パリ外国宣教会の宣教師たちは、日本全国で大活躍でした。函館から名古屋に広がる北代牧区は14の区に分けられ、フォリエ神父、パピノ神父らが宣教に努め、次々と新しい教会が設立されていきました。東京には築地教会を司教座として、ほかに4つの教会ができました。

南代牧区も同様に活発で、長崎やその周辺では信徒の司牧が進み、ほかの地方でも宣教が進みました。長崎ではペルー神父、マルマン神父、プアリエ神父、天草ではガルニエ神父、また九州全土にわたってラゲ神父、深堀達右衛門（ふかほりたつえもん）らが、教会の建設を進めました。また、ラゲ神父は新約聖書の文語訳を完成させました。



ビリオン神父

ビリオン神父は神戸や京都をはじめ、山口、萩、奈良など、西日本各地に宣教の道を開き、フランス語教育を通じて知り合った渋沢栄一、西園寺公望、原敬ら、近代日本の重要人物たちにも大きな影響を与えたと言われています。

(結城了悟師による同名の著書をベース)

7月の典礼

1日(木)	福者ペトロ岐部と 187 殉教者	22日(木)	聖マリア(マグダラ)
3日(土)	聖トマ使徒	25日(日)	年間第17主日
4日(日)	年間第14主日	26日(月)	聖マリアの両親 聖ヨアキムと聖アンナ
11日(日)	年間第15主日	29日(木)	聖マルタ
15日(木)	聖ボナベントゥラ司教教会博士	31日(土)	聖イグナチオ(ロヨラ)司祭
18日(日)	年間第16主日		

お知らせ

◇在バチカン日本国大使館より、片瀬教会を Facebook に掲載したとの連絡がありました。下記リンクで見られます。

<https://www.facebook.com/AmbasciataGiapponeSantaSede>

2021年 7月号

発行 カトリック片瀬教会

〒251-0035 藤沢市片瀬海岸2-2-35
TEL. 0466-22-4646 FAX. 0466-25-7909

<https://www.catholickatasechurch.com>